

第一回定例会

子育て特別委員会

平成 29 年度 2 月 22 日（水曜日）

3. 案件

- (1) 第 2 1 号議案 東京都台東区こどもクラブ条例の一部を改正する条例
- (2) 第 2 2 号議案 東京都台東区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例及び東京都台東区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- (3) 子育て環境について

1：ひとり親家庭就業支援の拡充について・・・

- 「1」 高等学校卒業程度認定取得事業の開始について
 - ・新たに高等学校卒業程度認定試験合格のための講座の受講費用の一部を助成致します。**国が 15 万円の補助に対して台東区は 30 万円の補助を致します。**
- 「2」 高等職業訓練促進事業の給付月額を増額について
 - ひとり親家庭の親が、養成機関で保育士や看護師の資格を取得する際、その期間の生活等に係る費用を負担軽減を図る、高等職業訓練促進給付金を給付致します。
ひとり親家庭の親の就業を目的に現在 10 万円を 15 万円に給付を増額致しました。

2：子供育成活動支援事業の実施について

学習支援や食事提供等の地域活動を担う団体に対して、経費の一部を視察する事により、親の就労や家庭事情等により孤立しがちな子供やその家庭に支援を実施致します。**対象事業の要件として 1：子供の居場所の確保 2：学習指導 3：食事の提供の 3 要件が必要です。**

3：児童相談所に係る東京都との協議状況について

- 「1」 東京都からの児童相談所設置計画の確認の進め方について
 - 国よって濃淡が出てきました。世田谷区では 2020 年を目途として有識者や区内の児童養護施設の関係者を委員とする検討委員会の設置に向けて 206 万円の予算を計上しています。江戸川区では、2020 年度の開設に向けて準備を進めている児童相談所の設計と土質調査委託に 9808 万円を計上。更に、土地取得に向けて東京都と交渉に入ったとの情報もあります。これは、10 年 1 月に区内の 7 歳の男子児童が虐待死した事件を振り返り「児相の設置は悲願だった。これが達成できるので、最善の努力をしていく」と多田区長は言っています。更に荒川区の西川区長は「児相移管は区長会の悲願。東京都と対立するのではなく都と協力していく」「構造シェアリング」が重要との認識を示しています。台東区では、現在検討中ですが、500 以上の項目を緻密な検討作業を進めています。